

「令和4年度国立研究開発法人建築研究所 講演会」を開催 ～最新の研究開発成果をご紹介します～

建築研究所では、研究成果や調査活動の発表を通じて、住宅、建築及び都市の各分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供することを目的として、「建築研究所講演会」をつくばカピオホールにて開催いたします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮して、人数を制限した会場と同時オンライン配信のハイブリッド方式で行います。

今年度は、特別講演として、慶應義塾大学の伊香賀俊治教授をお招きし、「カーボンニュートラル・ウェルネス建築推進のためのエビデンス」と題してご講演をいただきます。

当研究所が取り組んでいる研究活動を中心に、各分野における研究開発の最新情報をご紹介します。また、会場のホールロビーでは、研究成果等をパネル展示いたします。

1. 開催概要

日 時：令和5年2月22日（水）13時00分～17時40分（開場 12時予定）

*事前登録制、座席自由となっております。ライブ配信あり。

会 場：つくばカピオホール（茨城県つくば市竹園1丁目10-1 1階）

参 加 費：無料

プログラム：別紙をご覧ください。

*本講演会は、建築士会CPD制度の認定プログラムです。

申込方法：参加ご希望の方は、12月22日（木）より下記HP及びQRコードにて事前申し込みをお願いいたします。

<https://www.kenken.go.jp/japanese/research/lecture/r04/index.html>



2. 特別講演

慶應義塾大学教授 伊香賀 俊治氏

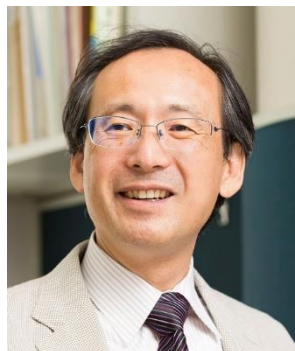
「カーボンニュートラル・ウェルネス建築推進のためのエビデンス」

プロフィール

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。
㈱日建設計、東京大学助教授を経て2006年より現職。

専門分野は建築・都市環境工学。博士（工学）。

日本学術会議連携会員、日本建築学会副会長、日本LCA学会副会長、空気調和・衛生工学会技術理事などを歴任。



3. 一般講演

建築研究所における主な研究成果等、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をご紹介します。

一般講演一覧

演 題	担当研究者
人間活動が常時微動に及ぼす影響の検証 ～「ステイホーム」で首都圏は静かになったのか～	国際地震工学センター 主任研究員 林田 拓己
地震時における鉄骨造建築物の損傷検知手法の開発	構造研究グループ 研究員 長谷川 隆
水害リスクを踏まえたまちづくりについて	研究専門役 木内 望
木質内装仕上の防火対策に関する近年の取り組み	防火研究グループ 主任研究員 野秋 政希
木造建築物の中高層化等技術に関する研究開発	材料研究グループ 上席研究員 槌本 敬大
BIM と最近の社会実装への取り組み	建築生産研究グループ 上席研究員 武藤 正樹
多様な住宅空調設備を評価するための暖冷房負荷計算の開発	環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志

4. パネル展示

会場ロビーでは、パネルを展示しております。

パネル展示一覧

パネル内容	担当研究者
地震後の継続使用性を確保するためのコンクリート系杭基礎構造システムの耐震性能評価手法および試設計	構造研究グループ 主任研究員 渡邊 秀和
建築物に作用する洪水等による外力性状に関する検討	構造研究グループ 研究員 高舘 祐貴
木造建築物の音環境からみた快適性向上技術に関する検討	環境研究グループ 上席研究員 平光 厚雄
ガス有害性試験におけるマウスの行動停止時間と血中一酸化炭素ヘモグロビン濃度の相関性について	防火研究グループ 主任研究員 趙 玄素
スタジアム・アリーナの群集安全計画に関する研究	防火研究グループ 主任研究員 峯岸 良和
建築研究所・材料分野における長期ばくろ試験による建築材料・部材の耐久性評価と成果の活用	材料研究グループ 主任研究員 松沢 晃一
建築分野におけるドローンに関わる環境整備と建築物調査技術の開発	材料研究グループ 上席研究員 宮内 博之
繰り返し地震力を受ける集成材構造の柱脚部の力学的挙動に関する研究	材料研究グループ 主任研究員 山崎 義弘
緑地の降雨の浸透能を必要な精度で簡便に推定できる手法の検討	住宅・都市研究グループ 上席研究員 戸田 克稔
共働き子育て世帯の住替え状況の全国的分析	住宅・都市研究グループ 研究員 中野 卓 研究員 今野 彬徳
地盤増幅特性を考慮した耐震性能の設定法	国際地震工学センター 研究員 大塚 悠里

※ 内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所

企画調査課 佐藤

電話 029-879-0644

E-mail kouenkai@kenken.go.jp

令和4年度 国立研究開発法人 建築研究所講演会

特別
講演

カーボンニュートラル・ウェルネス 建築推進のためのエビデンス

建築研究所講演会は、年に一度、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

プログラム			
13:00	開会		
13:05	-	理事長挨拶	理事長 澤地 孝男
13:10	講演1	人間活動が常時微動に及ぼす影響の検証 ～「ステイホーム」で首都圏は静かになったのか～	国際地震工学センター 主任研究員 林田 拓己
13:35	講演2	地震時における鉄骨造建築物の損傷検知手法の 開発	構造研究グループ 研究員 長谷川 隆
14:00	講演3	水害リスクを踏まえたまちづくりについて	研究専門役 木内 望
14:25	休憩	パネル展示	
14:40	講演4	木質内装仕上の防火対策に関する近年の取り組み	防火研究グループ 主任研究員 野秋 政希
15:05	講演5	木造建築物の中高層化等技術に関する研究開発	材料研究グループ 上席研究員 榎本 敬大
15:30	講演6	BIMと最近の社会実装への取り組み	建築生産研究グループ 上席研究員 武藤 正樹
15:55	講演7	多様な住宅空調設備を評価するための暖冷房負荷 計算の開発	環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志
16:20	休憩	パネル展示	
16:40	特別講演	カーボンニュートラル・ウェルネス 建築推進のためのエビデンス	慶応義塾大学教授 伊香賀 俊治
17:40	終了予定		



慶応義塾大学教授
伊香賀 俊治

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。㈱日建設計、東京大学助教授を経て2006年より現職。
専門分野は建築・都市環境工学。博士(工学)。
日本学術会議連携会員、日本LCA学会副会長、日本建築学会 学術理事、空気調和・衛生工学会技術理事などを歴任。
共著に、「CASBEE入門」、「建築と知的生産性」、「健康維持増進住宅のすすめ」、「LCCM住宅の設計手法」、「熱中症の予防と現状」、「最高の環境建築をつくる方法」、「すこやかに住もう、すこやかに生きる、ゆすはら健康長寿の里づくりプロジェクト」ほか多数。

日時 令和5年2月22日(水) つくばカピオホール
開場:12時00分/開会:13時00分 茨城県つくば市竹園1丁目10-1 1階

参加無料
要事前登録・座席自由
ライブ配信も予定



主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所
企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
<https://www.kenken.go.jp>



申込期限 令和5年2月15日(水) 17時

左記のQRコードよりお申し込みください。
定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。
予めご了承ください。